

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	589 農業振興事務経費	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	01	農業費
基本施策	42 持続的で個性的な農林業を実践する	目	03	農業振興費
		細目	287	農業振興経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	農業振興事務経費
担当部課	コード	191200	担当者氏名	円界 素史
	名称	産業建設課農林振興課		
		連絡先	43 - 2301 (内線)	332

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	農林政策に係る関係機関	※対象件数
成果(どうする)	関係機関との連携や情報収集・提供によって、円滑な事業推進を図ります。	
根拠法令・要綱等	団体の規約等	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	各種協議会等(主な5団体)への負担金支出、三重県農業信用基金協会出資(H21年度分、増資期間H20~21年度)	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	認定農業者協議会員数	人	目標 130	目標 135	140	145
			実績 127	実績 131		
	青空市農産物直売所数	箇所	目標 21	目標 21	21	21
			実績 20	実績 21		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	認定農業者協議会	認定農業者協議会の研修会、研究会の開催回数	回	目標 —	目標 8	10	12
				実績 —	実績 9		
	青空市推進協議会	青空市推進協議会の交流会、研修会の開催回数	回	目標 —	目標 8	10	12
				実績 —	実績 8		

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	3,867	2,325	1,368	1,368
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	5	5		
一般財源	3,862	2,320	1,368	1,368
事業投入人件費(B)	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440
フルコスト(A)+(B)	5,307	3,765	2,808	2,808

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人(の)力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
有効性	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	○
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 受益者負担を求められることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	今後は広範囲の活動が必要となるため、広報などで制度の啓発普及に努める
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 効率的かつ安定的な農業経営を目指す農家の育成を図るために、認定農業者の研鑽、情報交換、研修会等を開催した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	服部伊久夫
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 伊賀市の農業に関係する者の広域的な連携を図ることで、伊賀市の農業の振興に寄与する。
現時点における課題、その他	各団体への負担金に対する効果の把握
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年度中に各団体への負担金に対する費用対効果の検討を行い、負担金額の見直しにつなげる。